



特定機能病院 / 地方独立行政法人 大阪府立病院機構

大阪国際がんセンター 広報誌

# おいでだより

Take  
free

Osaka International Cancer Institute

季刊

Vol. 010

2023 Spring

## ★CONTENTS

- 02 活性酸素の消去が糖鎖によって制御されるメカニズムを発見  
～新たな肺がん治療の開発へ希望～
- 03 シンガポール南洋理工大学 (NTU) 国際交流会を開催しました
- 03 看護部国際看護交流  
～Welcome to Osaka International Cancer Center～
- 04 2022年度 日本肺癌学会優秀論文賞受賞のご報告
- 04 身近にいて頼りになる『二人主治医』体制を勧めております
- 05 内視鏡室の感染対策 ～内視鏡スコープの質の保証～
- 05 患者サービス向上に向けて ～コンシェルジュの取り組み～
- 06 センター内のアート作品を入れ替えました
- 06 LINE 公式アカウントを開設しました！
- 07 センター内でのマスク着用をお願い
- 07 【連載】はい、こちら「がん相談支援センター」です
- 08 ご寄付について



## 活性酸素の消去が糖鎖によって制御されるメカニズムを発見 ～新たな肺がん治療の開発へ希望～

当センター研究所・糖鎖オンコロジー部の谷口 直之のグループはこのたび、日本医科大学、大阪大学、広島大学、岐阜大学、兵庫医科大学の研究グループと共同で、活性酸素を消去するタンパク質（スーパーオキシドジスムターゼ）の一つである SOD3 がコアフコースという糖鎖によって制御されることを明らかにしました。その研究結果が、先日、国際的な研究学術誌 *Antioxidants & Redox Signaling* に掲載されました<sup>\*1</sup>。なお、この研究は当センター研究所・糖鎖オンコロジー部の大川 祐樹研究員および当時研修生だった北野 真郷氏が中心になって行われました。

私たちは大気中の 20% の酸素を吸って生命を維持しています。体内では、外環境からの刺激によって酸素の一部から、他の物質と反応しやすいスーパーオキシドや、ヒドロキシラジカル、過酸化水素などと呼ばれる活性酸素が産生されます。活性酸素はシグナル伝達や感染防御の役割を果たす一方で、毒性を示すことから、体内には産生された活性酸素を消去する仕組みがあります。体内で、この産生系と消去系のバランスが崩れ、産生系が有利になると、酸化ストレス状態となり、がん、糖尿病など、さまざまな疾患の誘因になります。消去系の酵素の一つに、スーパーオキシドジスムターゼ (SOD) というタンパク質があり、SOD1(Cu/Zn-SOD)、SOD2(Mn-SOD)、SOD3(EC-SOD) と呼ばれる 3 種類が存在します。SOD1 と SOD2 は元々、糖鎖<sup>\*2</sup> を持っていないタンパク質ですが、SOD3 は糖鎖を持った糖タンパク質です。しかし、これまでに SOD3 の糖鎖の働きはよく分かっていませんでした。

今回、研究グループはコアフコースという糖鎖が SOD3 の持つ活性酸素を消去する機能に必要であることを世界で初めて明らかにしました。SOD3 のコアフコースの機能を明らかにするため、コアフコースを作る FUT8<sup>\*3</sup> という酵素を実験的に欠失させた肺がん細胞を解析しました。この細胞では、FUT8 を欠失していない通常の細胞に比べて、SOD3 の細胞外への分泌が低下しており、加えて SOD3 の活性酸素の消去機能が著しく低下していました。また、SOD3 の立体構造をコンピュータシミュレーションしたところ、コアフコースが SOD3 の活性酸素の消去に働く部位の立体構造を変化させ、その機能を制御する可能性が明らかになりました。さらに、SOD3 が肺がん細胞の増殖を抑え、かつ、肺がん患者の血液中ではコアフコースが付加した SOD3 が増加することなどから、コアフコースによる SOD3 の機能の調整が、肺がんの病状によく関与することを明らかにしました。研究グループは今後、これらの結果を新しい肺がん治療法の開発につなげるため、さらに研究を続けていきます。

### <注釈>

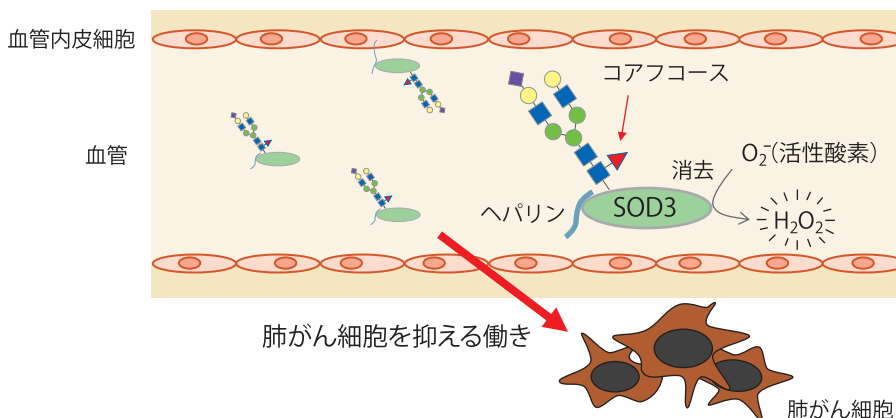
※ 1… Mary Ann Liebert, Inc.(アメリカ合衆国)より発行される抗酸化物質や酸化還元シグナルの研究分野をカバーする査読付きの科学雑誌。doi:10.1089/ars.2022.0010.

※ 2…糖鎖はグルコースやマンノース、フコースなどの糖が鎖状につながったもので、タンパク質に付加することで、そのタンパク質の機能を制御する。

※ 3…コアフコース糖鎖を合成する酵素である $\alpha$  1,6 フコース転移酵素。

### 【図】 研究結果の概要

SOD3 は活性酸素を消去する酵素であり、機能するにはコアフコースが必要であることを明らかにした。SOD3 が肺がんなどのがん細胞の増殖を抑えることが分かった。





## シンガポール南洋理工大学（NTU）国際交流会を開催しました

研究所 がん創薬部 赤澤 隆

和歌山県立医科大学・茂里 康教授が応募された「関西の最先端がん治療研究体験とその源流を学ぶ」がJST国際青少年サイエンス交流事業・さくらサイエンスプログラムに採択され、シンガポール南洋理工大学（NTU）Dr. Koh-Cheng-Gee（ラボメンバーの若手研究者7名）、Dr. Li-Hoi-Yeung らを日本に招待されました。その訪問先・目的地の一つに、当センター研究所を選定いただきましたので、令和4年12月8日（木）に、国際交流会を開催させていただき運びとなりました。

交流会は、当センター研究所 谷口 直之所長（糖鎖オンコロジー部）のあいさつから始まり、田原 秀晃部長（がん創薬部）、東山 繁樹部長（腫瘍増殖制御学部）らが各部門を紹介しました。

シンガポール南洋理工大学（NTU）からは、Koh-Cheng-Gee 博士と Li-Hoi-Yeung 博士より、発表いただき、有意義な Discussion を持つことができました。また、最後に、招待者である茂里先生より、ユニークな

あいさつをしていただき、交流会を締めることができました。

企画当初より、コロナ下の行動制限を懸念していたため、交流会のご案内が限定的になってしまいましたが、コロナの収束とともに、こうした機会が増えることを願っております。



## 看護部国際看護交流

～ Welcome to Osaka International Cancer Center ～

看護部 山根 康子

12月23日にタイのマヒドン大学看護学部の院生である9名の看護師さんが、当センターへ見学に来られました。今回来られた皆さんの国籍はタイ、ブータン、インドネシア、ネパールとさまざまでした。当センターからは日本国際看護師の3名（HCU・幸野Ns、9階なでしこ・山下Ns、外来・山田Ns）と、リソースナースの西野看護師長（皮膚排泄ケア認定看護師）、羅本主任（手術看護認定看護師）の5名が対応してくれました。皆さんとっても流暢な英語で円滑なコミュニケーションを取られていて「がんセンターナースっていい！」と改めて感じました。



合間でポケットークも活用しながら楽しい時間を共有しました。タイと日本の医療や看護の異なる点について、話が盛り上がりましたが、中でも抗がん剤の薬局でのミキシングや、短い入院期間の中で多くの患者さんに対応

する工夫、日本の専門看護師や認定看護師の役割についてなど、とても興味深かったようでした。私たちもタイの文化や医療制度の違いなどを知る機会にもなり、学びの多い交流となりました。もっと日本や、大阪国際がんセンターの素晴らしさを広めてもらえたらいいなと思いました。

看護部ではこれからも国際化に向けて取り組んでまいります。



## 2022 年度 日本肺癌学会優秀論文賞受賞のご報告

呼吸器内科 國政 啓

日本肺癌学会優秀論文賞を受賞いたしましたので、ご報告申し上げます。

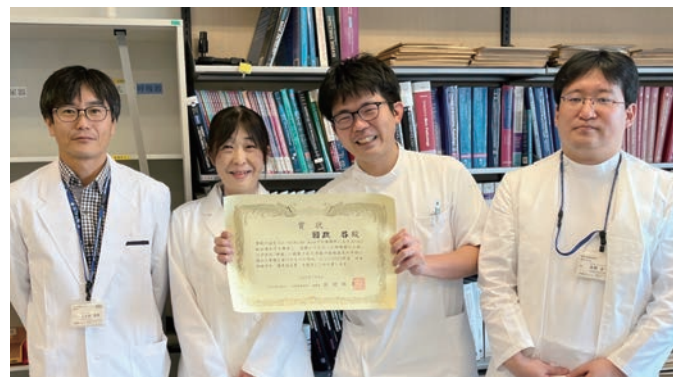
本賞は学会誌である『肺癌』に掲載された論文から毎年選考されます。今回、われわれはベトナム在住の患者さんで、同国の遺伝子パネルでは検出されなかった治療対象となる遺伝子変異が、当センターでの再検査にて ROS1 融合遺伝子が検出され、Crizotinib の治療につながった経過について報告しました。

当センターでは病理・細胞診断科、ゲノム病理ユニットなどと連携のうえ、良質なゲノム医療の提供を心掛けています。

本患者さんも、日本で再評価をしてほしいということで当センターの受診を国際部を通じて相談されました。

本患者さんは、診断後、現在も当科外来で加療を続けておられます。

現在、世界でもゲノム医療の均質化は進んでおりますが、当センターでは引き続き、世界水準のゲノム診療を提供できるように精進していく所存です。



## 身近にいて頼りになる『二人主治医』体制を勧めております

地域医療連携室

### かかりつけ医との連携について

「がん」という病気は極めて多様な治療パターンがあり、また長期にわたって治療が続くこともあります。

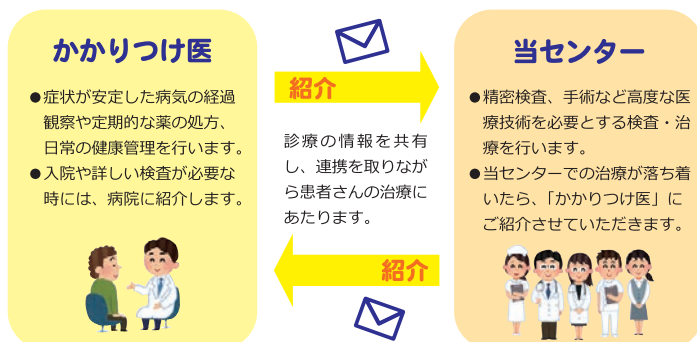
そこで日常の健康管理や他の病気を含めた全身的な診療は、患者さんの身近にあり患者さんのことをよく知る医療機関（かかりつけ医）が担い、がん治療専門病院での検査や治療を必要とするときはがん治療専門医が受け持ちます。その後は再びかかりつけ医が全身を診ながら患者さんを支え、それをがん治療専門医がバックアップします。がん医療においては、このように患者さんを中心に医療機関同士がチームを組んで診療することが求められます。

当センターでは、かかりつけ医と当センターのがん治療専門医が『二人主治医』として、これまでの経過や検査結果、治療の内容などについての診療情報を共有し、役割分担しながら協力して患者さんを支えるがん医療提供体制を推進しています。

### かかりつけ医をお持ちでない場合は？

入院までにかかりつけ医を決めていただくことを推奨しております。かかりつけ医をお持ちでない場合は、お住まいの地域や病状などに応じてご紹介することができます。担当医や看護師、「がん相談支援センター」、入院中であれば『入退院支援担当者』にご相談ください。

### 二人主治医体制のしくみ（一例）



「かかりつけ医」と当センターの担当医が二人で協力して患者さんを診察します。

※診療科によって進め方が異なりますので、まずはご相談ください。

## 内視鏡室の感染対策 ～内視鏡スコープの質の保証～

内視鏡室 高山 直美

内視鏡室ではさまざまな感染対策に取り組んでいます。

今回は、安全な内視鏡スコープ（以下、内視鏡）を提供するための「細菌検査」について紹介します。

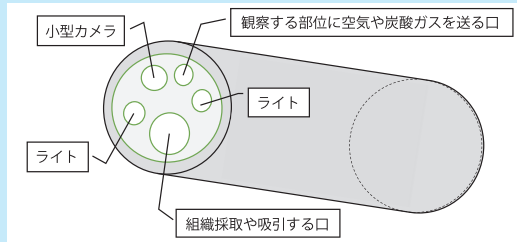
内視鏡の細菌検査は、日常の洗浄や消毒の適切さを確認するために、年に2回定期的を実施しています。

内視鏡の長さは、130～170 cm、太さは10～14 mmぐらいです。

構造は、外観からわかる食道・胃・十二指腸・大腸の内部を映す小型カメラや先端を動かす操作部の他に、内側は、観察する部位に空気や炭酸ガスを送ったり、組織を採取し吸引したりするための通り道などに分かれています。



### ●内視鏡スコープの断面



高度で複雑な内視鏡を活用するには、医療技術のみならず、専用の機器や道具を用いた洗浄や消毒、点検が重要です。

使用した内視鏡は、

洗浄専任スタッフと看護師での「細菌検査」の様子

に関する知識と技術を習得した専任のスタッフが、その都度、速やかに洗浄・消毒しています。

また、当センターでは、個々の内視鏡の履歴を管理し、いつ、だれに、どの内視鏡を使用したかを追跡できるようにしています。

細菌検査の結果や履歴管理は、関連診療科や感染対策部門と共有し、洗浄・消毒の質の評価・改善に活用しています。

皆さまが安心して検査を受けられるよう、日々努めております。



## 患者サービス向上に向けて ～コンシェルジュの取り組み～

医事グループ 井上 あかり

昨年度の患者満足度調査において、「その他スタッフの対応（待ち時間が長かったとき、職員からの声掛けがあった）」という項目が、全国平均より低い結果となり、今年度の課題となっています。その対応策の一つとして、11月より外来フロアにてコンシェルジュ1名がラウンドをして、患者さんへ声掛けを行う取り組みを実施しています。

具体的には、11:00～15:00の間、診察時間に遅れが発生している場合、診察室前の待合にいる患者さんにお詫びの声掛けを行うとともに、患者さんの様子を伺いながら、お困りごとがないか声掛けを行い、その時々で必要となる対応を行っています。患者さんが外来受診でお越しになった際、少しでも不安な気持ちを和らげることができるのではと期待しています。

患者満足度調査に向けた取り組みでしたが、調査以降も継続して取り組みを行い、患者サービスの向上に努めていきたいと考えております。





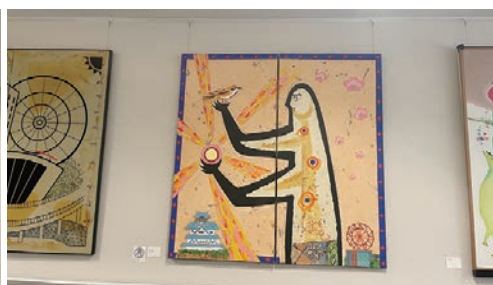
## センター内のアート作品を入れ替えました

当センターでは患者さんの視点に立ったサービスの提供の一環で、癒やし（精神的ストレス軽減）となる環境を整えています。

その中で“アートな病院”を目指し、大阪府の協力の下、6年前に公募した絵画や『大阪府 20 世紀美術コレクション』のアート作品 103 点を展示しています。



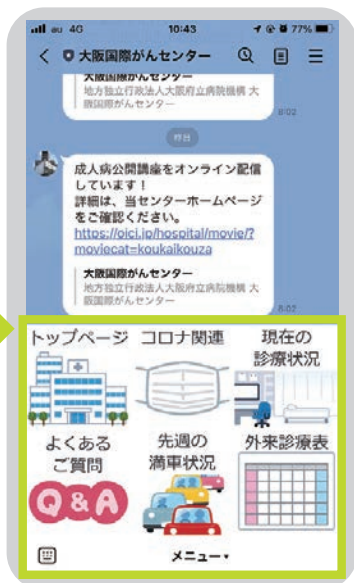
展示場所は、**外来および病棟の廊下**（特別病室および人間ドックは各部屋 1 点ずつ展示）など広範囲です。空間ごとにコンセプトを設定し、大小さまざまな絵画や写真を展示しておりバラエティに富んでいます。例えば、多くの方が来訪する 2 階および 3 階の外来には「アートストリート」を設け、主要な作家のアート作品を多数展示しています。診察の待ち時間などにぜひご覧ください。



## LINE 公式アカウントを開設しました！

このたび、より多くの皆さまに当センターのことを知っていただくため、公式 LINE アカウントを開設いたしました。当センターのホームページに掲載しております「現在の診療状況」「よくあるご質問」「駐車場満車状況」「外来診療表」「新型コロナウイルス感染症の情報」などが、**リッチメニュー**（トーク画面下部のキーボードエリアに固定で表示されるメニュー）より、いつでも簡単にすぐにご覧いただけます。

### LINE 画面



### 公式 LINE 投稿一覧（抜粋）

- よくあるご質問（施設・設備・その他）を更新いたしました。
- 検査・治療を受けられる女性患者さんへ、各診療科の取り組みをご紹介します。
- 「希少がん Meet the Expert 第9回 特別企画 日本のがん医療と希少がんを考える 希少がんへの新たな挑戦！」のオンラインセミナーが行われます。当センター総長 松浦 成昭も出演いたします！
- ワンランク上のサービスをご紹介します。

その他にも、患者さんやご家族にとって嬉しいお知らせを発信しておりますので、ぜひ「友だち追加」し通知をお受け取りください。



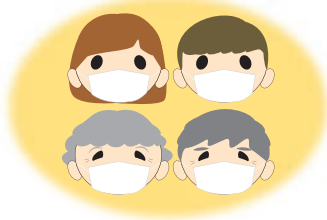
## センター内でのマスク着用をお願い

2023年（令和5年）3月13日以降、国のマスク着用の方針が変更されましたが、この方針においても高齢者等重症化リスクの高い方への感染を防ぐため、**医療機関受診時などマスクの着用が効果的な場面では、マスクの着用が推奨**されています。

当センターにおいては、免疫力が低く感染症にかかると重篤化しやすい患者さんが多くおられますので、同日以降も引き続きセンター内では**来院者の皆さまにマスクの着用**をお願いしています。

また、正面玄関入口のほか、各所に手指消毒用アルコールを設置しておりますのでご利用ください。

ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



## はい、こちら「がん相談支援センター」です

がん相談支援センター長 池山 晴人

【file 010】

がん患者さんのご家族のつらさ ～どんな言葉を掛けたら良いのでしょうか～

がん相談支援センターで何回相談のうち、約3割はがん患者さんのご家族からで、ご家族からの相談の2割ほどはご家族自身に関するものです。

「家族は第二の患者」という言葉をご存じでしょうか。ご家族ががんの診断を受けたことでショックを受け、悩み、ご家族自身のつらさを我慢して押さえ込んでしまう日々が続くと、不安や気持ちの落ち込みが続く場合があります。この状態のまま患者さんを励まし、支え、家族の暮らしを維持していくために頑張りすぎるなど、患者さんと同じかそれ以上の負担を抱えるためこのように呼ばれることがあります。

**がん情報サービス「家族ががんになったとき」のページ**にはご家族に向けて次の“**3つのヒント**”が書かれています。

がん情報サービス  
「家族ががんになったとき」



がんになったご本人とあなたを支える3つのヒント

ヒント1

患者さんの気持ちや希望を理解する・尊重する

ヒント2

情報とうまく付き合う

ヒント3

家族が自分自身も大切にす

引用：国立がん研究センターがん情報サービス

### ポイントをご紹介します・・・

がんになっても、ご家族の関係や絆が変わることはなく、ご家族（あなた）の存在が必ず支えになっていること、「情報は力」、ご家族も確かな情報を知り病気や治療の理解を深めることが不安を減らし現実的に見通すことができること、そして中でもご家族が自分を大切にすることがとても重要だということ。ご家族自身のケアも忘れずに！

執筆現在、当センターも入院中の面会ができず、ご家族は不安が多いと思います。確かな情報とうまく付き合い、ご家族自身のケアのキッカケを探すためにも「がん相談支援センター」をご利用ください。

♥がん相談ホットライン (情報提供・相談専用) ☎ 06-6945-1870

♥希少がんホットライン ☎ 06-6945-1177

電話対応時間：月曜日～金曜日（祝日・年末年始を除く）  
午前10時～午後4時

## ご寄付について

寄付者ご芳名 2023年1月1日～3月20日

受領日順／ご希望者のみ掲載

藤山 叶様、株式会社オレンジホールディングス 代表取締役 柳生 美江様、道中 克彦様、  
荒川 義美様、西田 良和様、公益財団法人日中医学協会 理事長 小川 秀興様、田口 正義様、  
梅寄 圭吾様

他 匿名者 18名

このたびもさまざまな個人や法人の方々から、貴重なご寄付を頂きました。ありがとうございます。  
この温かいお心遣いに感謝するとともに、このご厚意に報いるべく、これからも患者さんにより良い  
医療とサービスを提供してまいります。

## ご寄付のお願い

当センターは、常に「患者さん目線」で治療にあたるセンターでありたいと考えて  
います。患者さんの療養環境の改善や充実した医療を提供していくため、皆さまか  
らのご支援をお願いしています。

このたび当センターのご寄付に関するホームページを改修しました。頂きましたご  
寄付の活用方法や税制上の優遇措置について紹介しております。

皆さまのご支援を心よりお待ちしております。

お申し込み方法など詳細はホームページをご覧ください

<https://oici.jp/center/effort/donation/>



## OICIだより 2023年春号〈季刊〉



特定機能病院 / 地方独立行政法人 大阪府立病院機構

大阪国際がんセンター

発行 大阪国際がんセンター

編集 事務局 総務・広報グループ

〒541-8567

大阪市中央区大手前 3-1-69

TEL.06-6945-1181 (代表)

2023年4月発行



ホームページ



<https://oici.jp/>

フェイスブック



[@oici.jp](https://www.facebook.com/oici.jp)

ライン



<https://lin.ee/ZOCdHhU>



### ◆電車でご来院の場合

Osaka Metro「谷町四丁目駅」北改札口から徒歩約5分 /  
京阪電車「天満橋駅」東改札口から徒歩約10分

### ◆お車でご来院の場合

東大阪線「法円坂出口」より約5分 / 東大阪線「森之宮出口」より約8分

※ QR コードは (株) デンソーウェブの登録商標です。